



平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 7 月 26 日

会社名 株式会社 **リロ・ホールディング**

(JASDAQ・コード番号：8876)

(URL <http://www.relo.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 土屋 真  
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役 氏名 門田 康

TEL：03-5312-8704

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①最近連結会計年度からの会計処理方法における変更の有無： 有

従来、福利厚生代行サービス事業においてガイドブック等の発送に関わる費用は、運搬費として販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、当連結会計年度より営業費用として処理しております。この変更により、前期までの処理と比較して営業費用が 79 百万円増加し営業総利益は同額減少しましたが、営業利益、経常利益および税金等調整前当期純利益については影響ありません。

②連結および持分法の適用範囲の異動の有無： 無

③会計処理方法における簡便な方法の採用の有無： 有

法人税等の計上において、簡便な方法により算出をしております。

④公認会計士または監査法人による関与の有無： 無

当第 1 四半期業績の開示にあたっては、速報性、適時性を重視し、監査法人による監査は受けておらず、一部には正規の決算手続を経ていない数値が含まれております。

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期連結財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	営業収益		営業利益		経常利益		第 1 四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 19 年 3 月期第 1 四半期	16,564	32.2	728	61.4	722	64.4	305	113.8
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	12,529	29.3	451	29.0	439	23.5	142	40.2
(参考) 平成 18 年 3 月期	55,131		2,456		2,558		1,371	

	1株当たり第 1 四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり第 1 四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成 19 年 3 月期第 1 四半期	20	31	20	14
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	9	53	9	52
(参考) 平成 18 年 3 月期	89	06	88	44

(注 1) 営業収益、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(注 2) 平成 17 年 5 月 20 日付で 1 対 2 の株式分割を行っておりますが、1 株当たりの指標は比較を容易にするため、平成 18 年 3 月期期首に分割が行われたものとして算出しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における経済環境は、原油価格の高止まりや金利上昇等、企業の収益環境としてはマイナスとなる要因もありましたが、企業業績は総じて堅調に推移しているものと思われます。

このような状況のもと、引き続き多くの企業で積極的な採用活動が展開されており、福利厚生制度の拡充などにより働きやすい職場環境を整備することが人材を確保する上でプラスになると考える企業が増えていることから、企業福利厚生アウトソーシングサービスをトータルで手掛ける当社グループにとっては良好な事業環境が続いております。

そのような中、リロケーション事業セグメントにおいては、借上社宅管理業務のフルアウトソーシングサービス「リライアンス」を中心としたストックからの収益が増加したことに加え、昨年中間期より連結範囲に加わった Redac, Inc. が、今期は第1四半期から連結業績に寄与したことから、営業利益3億82百万円（前年同期比41.0%増）と伸張いたしました。

また前期減益となった福利厚生代行サービス事業セグメントにおいても、「福利厚生倶楽部」会員規模の拡大および「クラブオフ」提携企業の増加により営業収益が伸びたことなどにより、営業利益3億72百万円（前年同期比28.3%増）と増収増益となっております。

その他事業セグメントでは、引き続きシニア層を中心に需要が旺盛な会員制リゾート事業「ポイントバケーションリロ」において、今春新規開業した軽井沢・山中湖の両拠点が順調な立ち上がりを見せたことなどにより、営業利益は1億64百万円（前年同期比99.8%増）に拡大いたしました。

これらの結果、当第1四半期の連結業績は、営業収益165億64百万円（前年同期比32.2%増）、経常利益7億22百万円（同64.4%増）、当期利益3億5百万円（同113.8%増）となり、今期も順調なスタートを切ることが出来ました。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期第1四半期	19,879	9,060	45.6	601 78
平成18年3月期第1四半期	16,334	7,821	47.9	521 18
(参考) 平成18年3月期	20,436	9,199	45.0	608 90

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における財政状態につきましては、株主資本は配当金の支払いなどにより90億60百万円（前期末比1億38百万円減少）となりましたが、総資産が198億79百万円（同5億56百万円減少）となり、自己資本比率は0.6ポイント増加いたしました。

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(百万円未満切捨)

	営業収益	経常利益	当期利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	33,000	1,200	630
通期	69,000	3,000	1,580

\*1株当たり予想当期純利益（通期） 104円94銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年3月の連結業績予想につきましては、当初発表いたしました業績予想に変更はありません。

以 上

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、未満切捨)

科 目	当第1四半期末 (平成18年6月30日)	前第1四半期末 (平成17年6月30日)	(参考) 前連結会計年度末 (平成18年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	10,012	8,686	10,612
現金及び預金	2,284	2,725	2,913
受取手形及び営業未収入金	1,889	1,480	2,728
販売用不動産	337	342	339
前渡金	3,309	2,442	3,225
営業貸付金	307	242	273
その他	1,883	1,453	1,132
<b>固定資産</b>	9,867	7,648	9,823
有形固定資産	2,775	1,620	2,728
無形固定資産	1,206	748	1,053
投資その他の資産	5,884	5,279	6,041
<b>繰延資産</b>	0	0	0
<b>資産合計</b>	19,879	16,334	20,436
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	7,082	5,426	7,489
営業未払金	653	750	1,664
未払法人税等	387	263	658
前受金	4,582	3,586	4,226
その他	1,459	825	938
<b>固定負債</b>	3,694	3,086	3,708
長期借入金	62	0	88
預り敷金	3,578	3,056	3,452
その他	53	29	166
<b>負債合計</b>	10,776	8,512	11,197
(少数株主持分)			
少数株主持分	41	0	38
<b>(資本の部)</b>			
<b>資本合計</b>	9,060	7,821	9,199
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	19,879	16,334	20,436

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、未満切捨)

科 目	当第1四半期 自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日	前第1四半期 自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日	(参考) 前連結会計年度 自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日
	金 額	金 額	金 額
営業収益	16,564	12,529	55,131
リロケーション事業収入	13,957	10,339	45,724
福利厚生代行サービス事業収入	1,927	1,774	7,440
その他の事業収入	679	415	1,966
営業費用	14,393	10,879	47,393
営業総利益	2,171	1,650	7,737
販売費及び一般管理費	1,442	1,199	5,281
営業利益	728	451	2,456
営業外収益	11	14	169
営業外費用	17	26	66
経常利益	722	439	2,558
特別利益	6	0	45
特別損失	22	0	678
税金等調整前四半期（当期）純利益	706	439	1,925
法人税及び法人税等調整額	400	295	553
少数株主損益	0	0	0
四半期（当期）純利益	305	142	1,371

### 3. 事業の種類別セグメント

当第1四半期連結会計期間（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円、未満切捨）

	リロケーション 事業	福利厚生代行 サービス事業	その他の 事業	計	消去 又は全社	連 結
営業収益						
(1)外部顧客に対する営業収益	13,957	1,927	679	16,564	—	16,564
(2)セグメント間の内部 営業収益又は振替高	101	7	19	128	△128	—
計	14,059	1,935	698	16,693	△128	16,564
営業費用	13,676	1,562	533	15,772	63	15,836
営業利益	382	372	164	920	△191	728

前第1四半期連結会計期間（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円、未満切捨）

	リロケーション 事業	福利厚生代行 サービス事業	その他の 事業	計	消去 又は全社	連 結
営業収益						
(1)外部顧客に対する営業収益	10,339	1,774	415	12,529	—	12,529
(2)セグメント間の内部 営業収益又は振替高	41	2	11	55	△55	—
計	10,380	1,777	427	12,585	△55	12,529
営業費用	10,109	1,486	344	11,940	137	12,078
営業利益	271	290	82	644	△193	451